

平成22年 7月29日
東北地方整備局

入札監視委員会第二部会第1回定例会議（7月13日） の審議概要について

～抽出案件7件を審議、意見の具申・勧告はなし～

平成22年度東北地方整備局入札監視委員会第二部会第1回定例会議が7月13日（火）、東北地方整備局で開催されました。

部会開催にあたり、部会長に三輪委員を選出し、部会長代理には真野委員が指名されました。

定例報告では、①工事、建設コンサルタント業務等、役務の提供等・物品の製造等の発注案件、②指名停止措置の運用状況、③再度入札における一位不動状況、④低入札の発生状況の報告を行いました。

議事では、委員により抽出された案件7件の審議が行われ、委員からの意見の具申・勧告事項はありませんでした。

○審議概要は別紙のとおりです。

〈発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会〉

問 い 合 わ せ 先

国土交通省 東北地方整備局

仙台市青葉区花京院一丁目1番20号

TEL (022)716-0013 (ダイヤルイン)

契 約 管 理 官

かとう はるよし
加 藤 治 儀 (内線6221)

経 理 調 達 課 課 長 補 佐

ほんま かずひこ
本 間 和 彦 (内線6554)

東北地方整備局 入札監視委員会（第二部会）審議概要

| | | | |
|--------------------------------|--|-------------------|-------|
| 開催日及び場所 | 平成22年 7月13日（火）東北地方整備局会議室 | | |
| 委員 | 部会長 三輪 佳久（弁護士） 部会長代理 真野 明（東北大学大学院工学研究科教授） 委員 貝山 道博（山形大学人文学部教授） | | |
| 審議対象期間 | 平成22年 1月 1日～平成22年 3月31日 | | |
| 総抽出案件 | 総件数 7件 | | |
| 工 事 | 抽出案件 | | 件数 4件 |
| | 一般競争（WTO対象） | | 1件 |
| | 一般競争（WTO対象外） | | 3件 |
| | 工事希望型競争 | | 0件 |
| | 通常指名競争（港湾土木） | | 0件 |
| | 通常指名競争（空港等土木） | | 0件 |
| | 通常指名競争（港湾・空等等土木以外） | | 0件 |
| | 随意契約 | | 0件 |
| 建設コンサルタント業務等 | 2件 | | |
| 役務の提供等及び物品の製造等 | 1件 | | |
| 委員からの意見・質問、 それに対する回答等 | 意見・質問 別紙のとおり | 回 答 別紙のとおり | |
| 委員会による意見の具申 又は勧告の内容 | 特になし | | |

抽出案件工事概要書

| | 工事名 | 入札・契約方式 | 工事場所 | 上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯 | 応募 業者数 | 参加 (指名) 業者数 |
|---|--------------------------|------------------|----------------------|-------------------------------|-----------|-------------------|
| 1 | 小名浜港東港地区泊地（-14m）浚渫外工事 | 一般競争 (WTO対象) | いわき市小名浜港 港内 | 814,800 1回目落札 | 4者 | 4者 |
| 2 | 青森港油川地区防波堤（第一北）基礎工事（その3） | 一般競争 (WTO対象外) | 青森市青森港港内 | 141,750 1回目落札 | 1者 | 1者 |
| 3 | 青森港防波堤（改良）消波工事 | 一般競争 (WTO対象外) | 青森市青森港港内 | 145,950 2回目落札 | 4者 | 4者 |
| 4 | 寺内・飯島宿舎給湯設備取替修理工事 | 一般競争 (WTO対象外) | 秋田市将軍野桂町 秋田市飯島美砂町 | 2,383 1回目落札 | 2者 | 2者 |

抽出案件建設コンサルタント等概要書

| | 業務名 | 入札・契約方式 | 履行場所 | 上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯 | 応募 業者数 | 参加 (指名) 業者数 |
|---|---------------------------|-----------------|------|-------------------------------|-----------|-------------------|
| 5 | 久慈港海岸陸間施設耐震性能検証調査 | 簡易公募型競争 | — | 21,000 1回目落札 | 1者 | 1者 |
| 6 | 久慈港海岸海岸保全施設の恒久的維持に関する検討業務 | 簡易公募型 プロポーザル | — | 16,800 | 4者 | 1者 |

抽出案件役務及び物品概要書

| | 業務名 | 入札・契約方式 | 履行場所 | 上段：契約金額 (単位：千円) 下段：入札経緯 | 応募 業者数 | 参加 (指名) 業者数 |
|---|----------------------------|---------|----------------------------|-------------------------------|-----------|-------------------|
| 7 | 仙台塩釜港コンテナクレーン（3号機）免震技術実証実験 | 一般競争 | 仙台塩釜港高砂コ ンテナターミナル 構内 | 130,200 1回目落札 | 1者 | 1者 |

| 意見・質問 | | 回 答 |
|-------|---|--|
| 1-1 | 定例報告 「対象期間における発注案件について」 ・特になし | |
| 1-2 | 定例報告 「指名停止措置の運用状況」 ・特になし | |
| 1-3 | 定例報告 「工事種別ごとの再度入札における一位不動状況」 ・特になし | |
| 1-4 | 定例報告 「工事種別ごとの低入札価格調査制度調査対象工事の発生状況」 ・特になし | |
| 2-1 | 審 議 一般競争 「小名浜港東港地区泊地（－14m）浚渫外工事」 ・各入札参加者の入札価格の開差が小さい理由は何が考えられますか。 ・競争参加資格要件で客観点数が900点以上の者となっていますが、A等級の資格決定を受けている者であれば要件に該当するのでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単一工種であり、受注実績のある者であれば精度の高い積算が可能であり、各者とも受注意欲が高かったことから、調査基準価格付近での入札になったものと考えています。 ・現在A等級に資格決定されている者については、全て900点以上の要件を満たしています。 |
| 2-2 | 審 議 一般競争 「青森港油川地区防波堤（第一北）基礎工事（その3）」 ・入札参加者が1者となった理由は何が考えられますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格を有し入札に参加しなかった者にヒアリングしたところ、資格を有する技術者を配置できなかったことや使用船舶の確保ができなかったことが不参加の理由と聞いています。 |
| 2-3 | 審 議 一般競争 「青森港防波堤（改良）消波工事」 ・落札率が高い理由は何が考えられますか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・単一工種であり、過去の同種工事の積算内訳書も公表されていることから、積算の精度が高くなったものと考えています。 |
| 2-4 | 審 議 一般競争 「寺内・飯島宿舎給湯設備取替修理工事」 ・落札率が低くなっていますが、予定価格は適切に設定されていたのでしょうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・競争参加資格を有する者に見積もりを依頼し、材料・労務費の平均値をもとに積算していることから、予定価格は適正と考えています。 なお、落札者にヒアリングしたところ、製品を一括調達できたことから入札価格を低く抑えられたと聞いています。 |

| | 意見・質問 | 回答 |
|-----|---|--|
| 2-5 | <p>審議 簡易公募型競争 「久慈港海岸陸開施設耐震性能検証調査」</p> <p>・落札率が低くなっていますが、予定価格は適切に設定されていたのでしょうか。</p> <p>・18者が業務説明書の交付を受けていますが、参加表明者が1者となった理由は何が考えられますか。</p> | <p>・標準歩掛りに基づき積算しており、予定価格は適正と考えています。 なお、低入札であったことからヒアリングを実施し、主要な業務の直接人件費は、当局積算に相当する金額を計上していることから、当該業務が実施可能と判断しました。</p> <p>・参加表明書を提出しなかった複数の者にヒアリングしたところ、技術者の確保ができなかったことが参加表明書を提出しなかった理由と聞いています。</p> |
| 2-6 | <p>審議 簡易公募型プロポーザル方式 「久慈港海岸海岸保全施設の恒久的維持に関する検討業務」</p> <p>・海岸保全施設に陸開も含まれると思いますが、審議案件「久慈港海岸陸開施設耐震性能検証調査」の成果は反映させているのでしょうか。</p> | <p>・本業務において、「久慈港海岸陸開施設耐震性能検証調査」の成果も反映させています。</p> |
| 2-7 | <p>審議 一般競争 「仙台塩釜港コンテナクレーン（3号機）免震技術実証実験」</p> <p>・入札参加者が1者となった理由は何が考えられますか。</p> | <p>・クレーンの製作メーカーであれば免震装置の製作は可能ですが、免震装置の設計にあたっては、クレーンの振動特性等を把握する必要があり当該クレーンの特性等の知見を有する者が入札に参加したものと考えています。</p> |